

地域づくり委員会



10月11日(金) 広島市内において、約40名の委員出席のもと、2024年度第1回地域づくり委員会を開催しました。

当日は、日本放送協会広島放送局 松岡哲平氏によるご講演の後、中国経済産業局の神田部長と日本国際博覧会協会の本嶋部長から大阪・関西万博の機運醸成に関する説明を受けました。また、当委員会の事業実施状況報告および政府等への要望内容について審議を行い、原案どおり承認されました。ここでは、講演の概要を紹介します。

「As Local as possible」 ～小規模分散で豊かに～

日本放送協会広島放送局
コンテンツセンター
ディレクター
松岡 哲平 氏



【松岡哲平氏のご紹介】

2006年、日本放送協会(NHK)にディレクターとして入局。福岡、東京、沖縄で番組制作に携わる。主な番組にNHKスペシャル「日航ジャンボ機事故 空白の16時間」、「沖縄空白の1年～“基地の島”はこうして生まれた～」がある。

2021年には、ご自身の希望により東京から広島県三次市への『転職なき移住』を実現。NHK広島放送局に所属、リモート勤務を基本とし、撮影や打合せがある際には広島市へ入社している。現在、山陰山陽の文化・スポーツ・観光といった地域の魅力を未来につなぐ番組「connect (コネクト)」などの制作を担当。

今回、ご自身の体験を基に、地方創生の一つのあり方として、「小規模分散で豊かなまちづくり」について講演いただいた。

■持続可能な地域づくりの必要性

東京一極集中化が進み、「ヒト・モノ・カネ」が地方から東京に流れ、地方の空洞化が加速。これは世界的に見ても日本特有の現象で、少子高齢化が加速する地方はどうすれば「持続可能な地域づくり」を果たせるのか、日本全体の課題として取り組んでいかなければならない。

■東京の異常な人口密度

山林や湖等を除いた「可住地」での人口密度について、広島県は約1,200人/km²、東京都は約9,400人/km²で、東京は、世界的に見ても異常なレベル。世界を見渡せば、低密度で、広々と空間を使いながら生活している国が多数ある。



■「As Local as possible」

世界を見ると「地元にごだわる」は大きなキーワードであると番組制作を通じて気付いた。世界一豊かな国ともいわれるスイスを見ると有数の都市はいくつもあるものの、人口が一極集中していることはない。スイスは、自治体が小規模で分散しているのが特徴で、その各都市の自治権が非常に強く、その集合体が国であるとの考えで日本とは真逆。あるスイスの飲食店で「どうやったら魅力的なお店にできるか?」と尋ねたところ、地元産に拘ることが、品質向上・顧客満足度向上につながると明言された。スイスは、たくさんの品揃えで何でも買うことができる「As Global as possible」ではなく、そこでしか買えない地元へ拘った「As Local as possible」を貫くことで世界的な人気を獲得。ローカルに拘り続けることが逆にグローバルな人気につながる。日本の課題である東京一極集中による地方衰退を防ぐためにも、小規模分散型のまちづくりを進め、スイスのように「As Local as possible」を貫くことが持続可能な地域づくりを達成するための第一歩ではないだろうか。

企業の防災ご担当者様へNHKよりお知らせ

NHKでは、企業・団体のみなさまを対象に、災害・防災、健康・医療情報、経済・ビジネス番組など、従業員の方々のお仕事や生活に役立つ情報を定期的にメールでお送りしております。メール配信をご希望される場合は、以下までお問い合わせください。

<NHK広島放送局視聴者リレーションセンター>

Mail : m40001-hiroshima-bcp@li.nhk.or.jp

Tel : 082-504-5260 (土日祝除く10~17時)

(担当: 松本)